

## オリーブサミット国際オリーブシンポジウム

国際シンポジウムは、2013年から新規導入されるあたらしいプログラムです。

昨年のOLIVE JAPAN開催の際に、海外から集まった審査員たちが日本のオリーブオイル市場の活況ぶりに目をみはり、自分たちのノウハウや経験・技術をぜひ日本の業界に伝えたい、という声に押され、また、私たち日本オリーブオイルソムリエ協会の卒業生会員たちからも、せっかく海外から著名なオリーブ専門家が集まるのなら何か講座を開講してほしい、といった声を受けて、「シンポジウム」として当協会の課外講座として実施されることになったものです。

シンポジウムでも、OLIVE JAPANの共通テーマである「品質」と「消費者・ユーザー」は強く意識されています。特に、最近話題となっている品質やその基準に関しては、シンポジウムでも多くの時間を割いてさまざまな角度から迫っていきたいと考えています。

開催概要は以下の通りです。

### オリーブサミット国際オリーブシンポジウム 開催概要

- 期日・時間： 2013年4月27日（土） 午前10時 ~ 午後7時  
場所： カタリストBA セミナールーム 二子玉川ライズ・リバーフロント棟 8階  
入場料： 当日券 21,000円（税込）  
一般前売 18,900円（税込）  
協会会員前売 16,800円（税込） **前売発売は4月24日（水）まで**  
入場券取扱： 前売は、日本オリーブオイルソムリエ協会サイトより、事前申込制  
<http://www.oliveoil.or.jp/content/portfolio/sympo2013>  
当日券は、マルシェ会場内協会本部ブースにて  
定員： 50名  
通訳等： 同時通訳のイヤホンの貸出があります（無料・ただしデポジットあり）  
その他： 開催規約は、日本オリーブオイルソムリエ協会の「講座受講規約」に準拠します  
（シンポジウムは日本オリーブオイルソムリエ協会の「講座」として開催されます）  
プログラムの詳細： 以下をご参照ください。なお、プログラム間の入退場は自由です。プレス証のある方は無料で受講いただけます。協会本部ブースにてプレス証を受領ください。

シンポジウムの冒頭は、昨年オリーブオイル市場の裏側を赤裸々に暴き欧米でベストセラーをさらった『エキストラバージンの嘘と真実』（日経BP社、実川元子訳）の著者、トム・ミューラー氏による基調講演から始まります。そして長年アメリカでオリーブオイルプロモーションの第一線で活躍するリズ・タガミ氏によるマーケティングの将来課題に関する講演と続きます。

昼休みを挟んで午後からは、まず小豆島でオリーブ栽培研究の第一線を担う柴田英明氏による講演、そして国内新産地として産業化に取り組む熊本県から蒲島郁夫県知事（予定）、安田公寛天草市長が登壇し、生産を行う株式会社九電工の農園主を交えてパネルディスカッションを行います。

さらにシンポジウムは、あたらしい品質規格基準の嚆矢となっているEXTRA VIRGIN ALLIANCE (EVA) の日本で初めての本格的なご紹介を行います。オーストラリアオリーブ協会会長のポール・ミラー氏及びアメリカの著名なオリーブオイル専門家アレキサンドラ・デバリーン氏によるEVAの紹介講演、そしてEVAの方法に準拠したオリーブオイルのテイasting（官能分析）法のワークショップならびにテイasting指導と続きます。

午後の後半は、天草市と並んで九州のオリーブ新産地の一つ、大分県国東市から三河明史国東市長が登壇、栽培の実状講演を行うのに続いて、OLIVE JAPAN 国際コンテスト審査員6名による品質管理をめぐる国際機関の現状と将来と題したパネルディスカッションを行います。スペインやヨーロッパの伝統的な生産国が依拠する国際オリーブ協会の今後の品質規格に関する方向性や、アメリカ、オーストラリアなどの新興生産国が求めるより厳格な品質基準の行方を占います。

最後に、農業技術の進化したイスラエルからアブド・エルハダイ氏が登壇、最新のオリーブ栽培生産技術、灌漑技術などのご紹介講演を行い、当協会代表理事の多田より最新の日本の市場動向を概括してシンポジウムは幕を閉じる予定です。

文字通り世界の最先端のオリーブオイル事情と、日本国内の生産産地概要が一堂に集うプログラムです。プレス・メディア関係の皆様もぜひふるってご参加ください。（プレス・メディアの方は、本部ブースで登録いただければ無料で受講頂けます） 詳細プログラム及び登壇者プロフィールは次頁をご参照ください。

オリーブサミット国際シンポジウム プログラム詳細(27日 午前10時~午後7時終了予定)  
一日にして世界各地の主要生産地の動向や品質規格のあり方を学習することが出来ます。(各講演の時間、演題及び登壇者は運営の都合で予告なく変更となる場合があります)

**10:00AM ~ 10:40AM** 【基調講演 ~ エキストラバージンの嘘と真実】

Tom Mueller (トム・ミュラー) / 作家・ジャーナリスト

ハーバード大学、イギリス・オックスフォード大学大学院卒業。学術博士。ゴールドマン・ザックス証券勤務を経てジャーナリストとして独立。ニューヨークタイムズ紙、ニューヨーカー、ナショナル・ジオグラフィック誌、ビジネスウィーク誌など寄稿多数。ローウェル・トーマス賞受賞。エキストラバージンオリーブオイルの品質表示偽装を暴いた近著「Extra Virginity」でベストセラー作家

**10:40AM ~ 11:20AM** 【講演 ~ オリーブオイルのマーケティングの将来像】

Liz Tagami (リズ・タガミ) / オリーブオイルジャーナリスト、マーケティングコンサルタント

Tagami 氏の略歴は、OLIVE JAPAN ホームページのコンテストページ「審査員」欄ご参照

**0:40PM ~ 1:10PM** 【講演 ~ 小豆島でのオリーブ栽培の現状】

柴田英明(しばた ひであき) / 香川県農業試験場小豆オリーブ研究所首席研究員

柴田氏の略歴は、OLIVE JAPAN ホームページのコンテストページ「審査員」欄ご参照

**1:10PM ~ 1:50PM** 【講演・パネルディスカッション ~ 熊本県天草市におけるオリーブ栽培の取り組み】

安田 公寛(やすだ きみひろ) / 熊本県天草市長 (写真)

井手 信幸(いで のぶゆき) / 株式会社九電工天草オリーブ事業所長

蒲島郁夫熊本県知事の参加も予定されています。

**2:00PM ~ 3:30PM** 【講演/実技 Extra Virgin Alliance = 新たな品質同盟 + EVA理論に基づく官能分析法実技指導】

Paul Miller (ポール・ミラー) / オーストラリアオリーブ協会会長 (写真)

化学博士。オーストラリア農務省勤務を経てオーストラリアオリーブ協会を1995年に設立、会長を勤める

Alexandra Devarenne (アレキサンドラ・デバリーン) / EVA理事 アメリカ UC DAVIS校講師

最高峰のオリーブオイル研究機関であるアメリカUC DAVIS校にて長年にわたり講師として活躍

Richard Gawel (リチャード・ガウエル) / オーストラリア政府公認パネルリーダー

オーストラリア政府及び各州の鑑定士グループリーダーの鑑定士養成機関の長官

**3:40PM ~ 4:10PM** 【講演 ~ 大分県国東市におけるオリーブ栽培の取り組み】

三河 明史(みかわ あきふみ) / 大分県国東市長 (写真)

**4:25PM ~ 5:45PM** 【パネルディスカッション~国際オリーブ協会及び伝統的ヨーロッパ生産国の品質基準の未来】

=世界各国のオリーブオイル鑑定士達とのパネルディスカッション=

Antonio Lauro(アントニオ・ラウロ イタリア政府公認 カラブリア州パネルリーダー;写真左)

Agusti Romero(アグスティ・ロメロ スペイン政府公認 カタロニア州パネルリーダー;写真右)

Santiago Botas(サンチャゴ・ボータス 国際オリーブ協会アドバイザー) 他



各パネラーの略歴は、OLIVE JAPAN ホームページのコンテストページ「審査員」欄ご参照

**6:00PM ~ 6:40PM** 【講演 ~ イスラエルの最新オリーブ栽培技術】

Fathi Abd El-hadi (ファティ・エルハダイ) / イスラエル政府公認パネルリーダー

El-hadi氏の略歴は、OLIVE JAPAN ホームページのコンテストページ「審査員」欄ご参照

**6:40PM ~ 7:00PM** 【最終講話 ~ 日本のオリーブオイルマーケットの今、そして未来】

多田 俊哉(ただ としや) / 一般社団法人日本オリーブオイルソムリエ協会 代表理事

シンポジウムの締めくくりとして、日本オリーブオイルソムリエ協会代表理事が、主催者を代表して日本の市場拡大と将来像に関する講演を行います。

多田俊哉氏の略歴は、OLIVE JAPAN ホームページのコンテストページ「審査員」欄ご参照

